

(23) ラグビーフットボール競技

- 1 期 日 少年男子 2026年8月20日(木)・21日(金)・23日(日)
成年男子 2026年8月22日(土)
女 子 2026年8月23日(日)

- 2 会 場 千葉県総合スポーツセンター ラグビーサッカー場
〒263-0011 千葉市稲毛区天台町 323 TEL 043-290-8501
重兵衛スポーツフィールド中台
〒286-0015 成田市中台 5-2 TEL 0476-26-7251

3 種別及び参加人員

| 種 別 | 監 督 | 選 手 | 参加都県 | 小 計 | 合 計 | 本大会 出場枠 |
|------|-----|-----|------|-----|-----|------------|
| 成年男子 | 1 | 10 | 8 | 88 | 368 | 1 |
| 女 子 | 1 | 10 | 8 | 88 | | 1 |
| 少年男子 | 1 | 23 | 8 | 192 | | 1 |

(注)成年男子については、監督が選手を兼ねる事ができる。

女子については、監督が女子の場合、選手を兼ねることができる。

4 競技上の規程及び方法

- (1) 2026年度版 World Rugby 競技規則による。
(2) 試合時間は、下表のとおりとする。

| 種 別 | 前 半 | 休 憩 | 後 半 |
|------|-------------|------|-----|
| 成年男子 | 7人制 7分 | 2分以内 | 7分 |
| 女 子 | 7人制 7分 | 2分以内 | 7分 |
| 少年男子 | 15人制 25分 | 5分 | 25分 |

- (3) 成年男子・女子の試合形式について

4チームずつ2グループの総当たり戦によるリーグ戦を行い、各グループ1位同士の勝者1チームを代表とする。

1位同士の試合において同点の場合は延長戦を行わず、次の順序で決める。

- ① トライ数の多いチームを上位とする。
- ② トライ後のゴール数の多いチームを上位とする。
- ③ 上記の方法で決定できない時は、抽選によって本大会への出場チームを決める。

各プールにおける順位の設定は、各リーグ全試合の勝ち点の合計により決定する。

各試合の勝ち点は、勝ち(不戦勝含む)3点、引き分け2点、負け1点、棄権(不戦敗含む)0点とする。

なおリーグ戦終了時点で、2つ以上のチームが勝ち点数が同じ場合は、下

記の基準と順序に従い決める。

- ① 各プールでの、当事チーム間で勝利したチームを上位とする。
- ② 各プールでの、当事チーム間の勝敗が同じ場合は、次の手順で上位チームを決める。
 - a) 各プール全試合の得点数と被得点数の差が最も大きいチームを上位とする。
 - b) 各プール全試合のトライ数と被トライ数の差が最も大きいチームを上位とする。
 - c) 各プール全試合で得点数が最も多かったチームを上位とする。
 - d) 各プール全試合で最もトライ数の多かったチームを上位とする。
 - e) 上記基準を用いてもなお順位が付けられない場合は抽選で順位を決める。
- (4) 試合開始時の人数は、両チームとも最低5名が競技区域内にいないといけない。(スクラム3名参加、BK2名)
- (5) 7人制の場合の選手の「入替(戦略的)」と「交替(負傷交代)」
 - ① リザーブ選手は、1チームあたり4名以内とし、「入替(戦略的)ならびに交替(負傷交代)」は合わせて最大5回までとする。入替(戦略的)により退出した選手は、出血した選手が発生した場合、一時的に交替し再度その試合に加わっても良い。また、(A)相手の不正なプレーによる退場、また(B)ヘッドインジャーによる退場が発生した場合、交替し再度その試合に加わっても良い。((A)・(B)の交替は5回に含まれない)。負傷交替で退出した選手はいかなる理由があってもその試合に再び加わることはできない。
 - ② ブラッドビン(出血処理による一時的交替)
 - ③ 出血処置による一時的交替は15分以内、(15人制同様ルール/ランニングタイムで計測)止血処置は、原則チームドクターが対応することとし、再出場の判断は、マッチドクター及び第3アシスタントレフリーの確認を必要とする。なお、チームドクターがいない場合はマッチドクターが対応する。
- (5) 少年男子の試合形式について
トーナメント方式とする。
8チームのトーナメント戦を行い、1位のチームを代表とする。
トーナメントにおいて規定時間内に、同点のため次の試合への出場チームが決まらない場合及び順位を決めなければならない場合、次の順序で決める。
 - ① 総トライ数の多いチームを上位とする。
 - ② 総トライ数も同じ場合は、ペナルティトライ数の多いチームを上位とする。
 - ③ 総トライ数もペナルティトライ数も同数の場合は、トライ後のゴール数の多いチームを上位とする。
 - ④ 上記の方法で決定できない時は、抽選によって次回への出場を決める。

(6) 雷等、荒天時等における「中断」「再開」「勝敗」について 試合中に落雷（雷鳴・雷光）が発生した場合、直ちに試合を中断させる。中断並びに再開の判断は競技担当責任者を中心に、気象庁から発表される気象警報を確認し、大会関係者と協議し決定する。再開の判断は、中断後概ね30分後を目途とする。チームのウォーミングアップ時間を十分に配慮した上で、試合再開時刻を決定する。試合が中断し再開出来ないと判断した場合、以下の方法で勝者を決定する。

① 成年男子・女子：予選プール

(ア) 前半途中・後半途中、いずれの中断であっても試合は成立し、中断時の得点を有効とする。

(イ) 中断時の得点が同点の場合は引き分けとする。

(ウ) 再度中断した場合は(ア)、(イ)を適用する。

② 成年男子・女子：代表決定戦、少年男子

(ア) 前半途中・後半途中、いずれの中断であっても試合は成立し、中断時の得点を有効とする。

(イ) 中断時の得点が同点の場合はトライ数・ペナルティトライ数・トライ後のゴール数を考慮せず引き分けとし、抽選によって次回戦への出場を決定する。

(ウ) 再度中断した場合は(ア)、(イ)を適用する。

(7) 罰則

① 同一試合で同一選手にイエローカードが2枚示された場合、その場で退場となる。

② レッドカードが示された場合、その場で退場となる。

③ 上記①②に加え、イエローカードが累積3枚になった場合、最低1試合と次戦に出場することはできない。4枚目以降も同様とする。（大会規律委員会にて裁定）

※シンビン、レッドカード（退場）は本ブロック大会のみに適用されるものとする。

(8) その他

上記に記載のない事項については、関東ラグビーフットボール協会・千葉県ラグビーフットボール協会・第80回国民スポーツ大会関東ブロック大会千葉県実行委員会により協議する。

5 参加資格・所属都県及び選手の年齢について

第80回国民スポーツ大会関東ブロック大会総則8に定めるもののほか次による。

(1) 少年男子

高等学校在学中の生徒は、所属長（居住地を示す現住所によるもののはかは都道府県ラグビーフットボール協会長）が、人物、身体、学業など

適当と認めたものとする。

- (2) 外国籍選手のエントリーは、20名以下での大会参加申込の場合は3名まで、21名から23名の大会参加申込の場合は4名までとする。競技区域内でプレーできるのは2名までとする。(外国籍選手の参加資格は総則5に準拠)
- (3) 成年男子
外国籍選手のエントリーは2名までとし、競技区域内でプレーできるのは1名とする。(外国籍選手の参加資格は総則5に準拠)
- (4) 女子
 - ① 高校1年生を含む2011年4月1日以前に生まれた者。
 - ② 高等学校在学中の生徒は、所属長(居住地を示す現住所によるもののはかは都道府県ラグビーフットボール協会長)が、人物、身体、学業など適当と認めたものとする。
 - ③ 外国籍選手のエントリーは2名までとし、競技区域内でプレーできるのは1名とする。(外国籍選手の参加資格は総則5に準拠)
- (5) 監督
チームの監督は、(公財)日本スポーツ協会公認スポーツ指導者制度に基づく、公認ラグビーフットボールコーチ3 [(公財)日本ラグビーフットボール協会強化コーチ]、公認ラグビーフットボール4のいずれかの資格を有する者とする。
- (6) その他
(公財)日本スポーツ協会規定および(公財)日本ラグビーフットボール協会選手・役員規定に違反する者は参加できない。

6 参加上の注意事項

- (1) 少年男子は、全国高等学校体育連盟ラグビーフットボール専門部が定める「プレーヤーの服装規定」に準ずること。ユニフォームは統一デザインのものを着用するものとし、特にパンツにおいては、メーカー識別表示を除き、広告や宣伝表示がないものを着用すること。また、パンツのラインの有無も統一すること。競技中及びその前後に使用するユニフォーム類の胸には、必ず所属する都道府県名を明示すること。
- (2) 女子は、必ずマウスガード、歯を保護するものの着用を義務とすること。また、19歳未満の選手には、ヘッドギア(WRのマークがついたもの)着用も義務とすること。なお、競技規則はワールドラグビー制定の『2026年度7人制競技規則』を適用するが、安全面を考慮し、スクイズボールや危険とみなされたプレーにおいてはレフリーの判断でとめる場合がある。
- (3) 本大会におけるアシスタントレフリー・サブコントローラー(選手入替・交代管理者)は、大会本部で配置する。

